

成田市教育委員会会議事録

平成29年4月成田市教育委員会会議定例会

期 日 平成29年4月26日 開会：午後2時00分 閉会：午後3時30分

会 場 成田市役所5階503会議室

教育長及び出席委員

教 育 長	関 川 義 雄
委 員 (教育長職務代理者)	小 川 新太郎
委 員	高 木 久美子
委 員	福 田 理 絵
委 員	佐 藤 勲

出席職員

教育部長	宮 崎 由紀男
教育部参事	神 山 金 男
教育総務課長	鬼 澤 正 春
学校施設課長	篠 塚 正 人
学務課長	高 梨 哲 生
教育指導課長	高 安 輝 司
生涯学習課長	田 中 美 季
学校給食センター所長	山 田 昌 弘
公民館長	神 崎 良 浩
図書館長兼視聴覚サービスセンター所長	池 田 桂 士
スポーツ振興課長	伊 藤 善 光
スポーツ振興課施設係長	黄 野 秀 樹
教育総務課長補佐 (書記)	篠 塚 康 孝

傍聴人：0人

1. 教育長開会宣言
2. 署名委員の指名 小川新太郎委員、佐藤勲委員
3. 前回議事録の承認
4. 教育長報告

主催事業等

○3月28日 平成28年度末成田市教職員辞令伝達式について

全委員さん出席のもと開催され、純退職者35名、校長や教頭への昇任者13名、新規採用者29名の皆さんにそれぞれ辞令を伝達いたしました。状況については周知のことと思いますので、詳しい報告は省略させていただきたいと思います。

○3月28日 平成29年度成田市学校サポート教員・健康推進教員辞令交付式について

同日、市採用の臨時教職員として、学校サポート教員並びに健康推進教員に辞令交付を行いました。これについても、全委員の皆様がご出席されており、ここでの報告は特に必要がないと思いますので、省略させていただきたいと思います。なお、今年度についても、健康推進教員のように養護教諭の仕事をサポートする制度は他市町ではあまり例がなく、成田市独自の制度と言えますが、県全体で児童生徒数の減少に伴い、学校が統合されるなど廃校になる学校も出ていて、学校一人配置の養護教諭については、再任用制度もあって、新規採用者枠はわずかなようです。そういう意味からも、養護教諭志望の方には、本当に貴重な職になっているものと思われま

○4月 7日～10日 成田市立小中学校並びに義務教育学校入学式について

教育委員の皆様には、入学式への出席についてご協力いただいたところですが、私は、大栄中学校、成田小学校、そして、加良部小学校の入学式に出席してまいりました。大栄中学校では、午後からの入学式ということで、これは私も初めての体験で、初めは、何か違和感を持っておりましたが、生徒は大変良く指導されており、在校生の合唱は素晴らしいし、態度も立派でした。4年後の統合に向けてさらに良い学校づくりに努めてほしいと思いました。成田小学校は、土曜日の入学式でしたが、あいにくの冷たい雨で、記念撮影もままならない状況であり、

お子さんの晴れ姿をカメラに収めたいと願っていた方々には気の毒な思いがしました。式典は、在校生は5、6年生のみの参加でした。会場が狭いからという理由はわかりますが、もう少し何とかならないものかと思いました。加良部小学校では、何と言っても校長先生の式辞が素晴らしかったです。子どもたちに三つの花をプレゼントするというお話から、あらかじめ用意しておいた大きな花の絵を見せながら、その絵の真ん中に「元気」と書いてありまして、「初めに元気の花をプレゼントします」という話から始まり、「仲良し」、「考える」の三つの花をプレゼントするという流れの話でした。子どもたちは校長先生の話に釘付けになり、本当にしっかり聞き入っていました。最後のまとめの話も、あらかじめ用意しておいた何色もの紙テープで輪を作り、このテープの色は、皆さんが通っていた幼稚園や保育園の数だけあり、この輪は、入学した皆さんと同じ98個ある。小学校では、こうしてみんなつながって、一つになって、というような話で締めくくりました。最後までしっかり話を聞いた新入生、わかりやすく、きちんとした式辞を述べられた校長先生の姿に、これぞ小学校の校長という気持ちになりました。

委員の皆様はいかがでしたでしょうか。後ほどお話ししていただければと思います。

○4月12日 平成29年度施策説明会（校長部門）について

施策説明会につきましても、全委員さんが出席されておりますので、内容については省略したいと思います。ただ、昨年度末に9名の校長先生方が退職され、同時に他市町や行政機関への異動などもあって、今年度当初は、新校長11名を含む大幅な入れ替えとなりました。学力の向上を最大の目標としつつ、一人一人の教職員の指導力向上が今年度最大の課題と考えておりますので、校長先生方には、最大限のご努力をお願いしたいと思っています。もちろん、教育委員会事務局も新体制で臨みますので、これまで以上の成果をあげられるよう、努めてまいります。

○4月13日 平成29年度施策説明会（副校長・教頭・事務職員部門）について

前日の校長部門で行われた施策説明を、今度は各担当課長が説明する会も実施いたしました。私は初めの挨拶だけの出席でしたが、新教頭が12名誕生したことから、教頭になっても、教員を志した時の初心を忘れず、職員一人一人の声をよく聞いて、校長の学校運営を支えられるよう努力してほしいこと、また、教頭や事務職員は外部の方と接する機会が多くなり、「学校の顔」的な存在となることから、学校を訪問される方々に対し、謙虚な姿勢で接するようにと、お話しさせていただきました。併せて、不祥事の防止について、自らを律する気持ちを持って行動するようということ強く述べさせていただきました。

○4月17日 文化財審議委員会視察について

本年度第1回目の文化財審議委員会でしたが、今回は、昨年度末に新たに県指定文化財となった楽満寺のガラス絵馬を視察に行き、現地で視察を兼ねての委員会開催となりました。ここでは、ガラス絵馬を見るだけでなく、これまで市の指定であったもののうち、県指定から外れたものについて、今後どうするかを協議しました。その結果、単独でも市の指定文化財とすべきとの意見で一致し、同様の品が市内の他の場所にも存在するので、それらもよく見て、市指定の文化財にしていくかどうか協議することとしました。それにしても、楽満寺は自然環境に恵まれた良い場所にあり、境内には天保年間に設置されたと思われる芭蕉の句碑もあったり、本堂の天井にも訪れた方々から寄進されたと思われる板絵馬が隙間なく敷き詰められていたり、まだまだ調査すべき対象がたくさんあるお寺だと思った次第です。

○4月21日 家庭教育学級運営委員会議について

市内の小中学校並びに幼稚園、保育園併せて66学級の家庭教育学級主事並びに家庭教育学級運営委員の方々がお集まりになり、担当から家庭教育学級の進め方等について説明をさせていただきました。私は最初の挨拶のみで離席させていただきましたが、昨年度の実績を見ると、視察や調理実習のような親が楽しめる行事には結構な参加者があるものの、講演会のような心の学習にはほとんど参加されないようで、家庭教育学級が何のために行われているのか再考する必要があるように思いました。そもそも、家庭教育学級は、子育てで悩む親同士をつなぐパイプ的な役割を果たしながら、家庭教育の質を上げていくことを目的にしているのではないのでしょうか。今年度、実施するからには、各園や学校の充実した取り組みを期待したいものです。

その他

○3月28日 平成28年度末辞令交付式について

四街道市にある北総教育事務所別館にて、北総教育事務所管内の学校職員で経験25年以上の退職者と、新規採用教職員に辞令が交付されました。勤続25年以上経験の退職者数は、北総管内で218名、若年退職者数を含めるともっと多くなるはずですが、新規採用者は188名という状況でした。退職者数の割に新規採用者数が少ないのは、それだけ児童生徒数が減っているということと、再任用者が多くなってきたのだと思います。なお、先ほど申し上げました養護教諭の新規採用者は、北総管内でわずか5名でした。しかも、配置はすべて銚子、旭、匝瑳といった海匝地区での採用でした。養護教諭については、まさに「狭き門」になったとい

う印象です。

○3月30日 日本ボーイスカウト千葉県連盟成田第一団菊スカウト顕彰者表敬訪問について

菊スカウト章とは、公益財団法人ボーイスカウト日本連盟が定めた名誉章で、ボーイスカウト部門（小学校6年生から中学校3年生までの4年間）では最高地位の位置づけを持つものだそうで、この章を獲得するには社会生活や野外活動、リーダーシップなど数多くの様々な課目をクリアーし、その課目に合格したことを認定されたうえで、最終面接をクリアーしなければ与えられない特別な章だということです。今回ボーイスカウト第一団からは、1名だけがこの章を受け、市長を表敬訪問されたものです。顕彰を受けた子は中学2年生で、団内では後輩のお手本として、学校の部活動と並行して、これからもボーイスカウト活動を続けたいと決意を語っておりました。

○3月31日 平成28年度成田市職員退任式について

平成28年度末退職者お一人お一人に対して、辞令交付が行われました。

平成28年度末をもって退職された方は49名でしたが、この中には、学校に転出した職員9名も含まれていますが、ここ数年、大勢の方の退職が続いています。現在は、定年退職しても年金が支給されないために、退職後は収入がなくなることもあって、再任用という形で再び行政の職につく方も多いのですが、とにかく健康に過ごしていただくことが第一です。そして、これまでのご苦勞が報われるよう、第二の人生を楽しく歩んでいただきたいと願っています。

○4月 1日 第9回成田女子サッカーフェスティバルについて

毎年4月初めにこの大会があって、開会式に参加するとともに、試合も見学させてもらっていましたが、今年は、豊住ふれあい健康館のオープンと日程が重なってしまい、開会式で挨拶をし、全員で記念写真を撮った後、すぐに豊住の方に向かいましたので、試合は見る事ができませんでした。この日は、冷たい雨が降っているにもかかわらず、開会式も、記念撮影も、雨とは関係ないとばかりにコート上で行われました。試合はともかく、開会式まで子どもたちを雨に濡れさせるのはどうかという思いから、私の挨拶も簡単に済ませましたところでは。

○4月 1日 豊住ふれあい健康館オープニングセレモニーについて

豊住ふれあい健康館については、オープン前に教育委員さん全員で一度視察し、体験されておりますし、このオープニングセレモニーにもご出席されておられますので、改めてご報告す

る必要はないかと思いますが、この日、雨天にもかかわらず、地元、豊住の方々が大勢来場されており、この施設に対する大きな期待を感じさせられました。今後は、是非この施設を十分に活用いただきたいと思います。学校跡地利用のもととなった豊住中学校の統合は、その後の成田市の学校適正配置を進めるうえで大きな出発点だったことを思えば、私にとっても、この施設のオープンは無量の思いでした。

○4月 2日 国際医療福祉大学医学部入学式・開設記念式典について

成田国際文化会館で国際医療福祉大学医学部の入学式と開設記念式典が盛大に行われ、私も出席させていただきました。初めに開設記念コンサートがありましたが、なんと、東京フィルハーモニー交響楽団の演奏で、指揮は渡邊一正さん、テノール歌手の福井敬さんも参加されて、びっくりするぐらいの豪華なメンバーで、この演奏を聴くだけでもここに出席した甲斐があると思えるような方々の演奏会でした。演奏曲は3曲だけでしたが、まさに一流の演奏を一流の指揮者のもと、国際文化会館で聴けるとは思ってもいませんでした。

また、入学式では、来賓として山本幸三内閣府特命担当大臣、森田千葉県知事のほか、ベトナム保健大臣、日本医師会長、日本医学会長、等々、そうそうたるメンバーが出席され、祝辞を述べられるなど、大学がこの医学部開設をどれだけの思いを持って成し遂げたのか、よく伝わってきました。入学式の後、国際医療福祉大学医学部校舎で記念祝賀会も開かれましたが、ここにも、政界、医学界、金融業界、企業等々の方々が多数招かれ、盛大に執り行われました。

○4月 3日 平成29年度新規採用職員入所式について

今年は4月1日が土曜日だったこともあり、入所式は4月3日になりました。新規採用職員は行政職60名、消防職3名の計63名となりました。それぞれ難関を突破して成田市役所職員になったわけですから、成田市民のため、全力で頑張ってくださいと思います。なお、教育委員会には、生涯学習課に、学芸員の資格を持った男性1名が入りました。今後の活躍を期待したいと思います。

○4月 4日 国際医療福祉大学2学部5学科入学式について

今年、第二期生を迎えた国際医療福祉大学の看護学部、保健医療学部の入学式に参加しました。今年は第二回目の入学式ということで、特別何か変わったことをするのではなく、他の学校の入学式と同様な流れで、時間も1時間足らずで終了となりました。前々日の医学部の入学式があまりにも盛大だったため、逆に、しつとりと落ち着いた雰囲気の中でしっかり行われた

という印象を持ちました。

○4月11日 千葉県立栄特別支援学校第1回入学式について

富里特別支援学校の分離校として、今年度開設した、栄特別支援学校の第1回入学式に参加してきました。この栄特別支援学校は、2年前に閉校した栄東中学校の校舎をベースに、食堂部分を増築するとともに、エレベーターの設置や、各所にバリアフリー化を施すなどの改造をして、新たに県立特別支援学校として生まれ変わったものです。閉校した学校の跡地利用として、大変効果的な使われ方をしているのではないのでしょうか。第1回入学式に参加した児童生徒は、小学部20名、中学部8名、高等部14名の計42名で、全校児童生徒数は105名となったそうです。なお、在籍する児童生徒のうち、成田市から通学している子どもが一番多いとのことでした。

○4月11日 平成29年度千葉県市町村教育委員会教育長会議について

毎年度初めに開催される、県内全市町村の教育長を集めての教育施策説明会に出席してまいりました。県教育長から主な事業概要の説明を受けた後、各課長からそれぞれが担当する施策の主なものを説明して頂きましたが、説明時間は、10分の休憩をはさみ、およそ3時間でした。何も言わず、じっと聞いているのもなかなか大変ですが、初めに内藤教育長が県の施策の大部分を要約する形でお話しされたため、それだけでも重要なポイントは何か、把握することができました。昨年度末、新指導要領が示され、小学校英語科の設置や、「主体的、対話的で深い学び」いわゆるアクティブラーニングという言葉が随分と言われるようになりましたが、実は、新指導要領の解説についてはこれから示されるので、具体的に、今後、学校はどのような形で教育課程を編成していったらいいのか、その解説が公表されてから考えていくことになるものと思います。県教委も、文科省から情報が入り次第、市町村教委に伝達していただけるようなので、それを待ちたいと思います。ところで、これは県だけでなく、私たちもそうだと思いますが、何かを新たに実施するなら、何かをやめることも必要だということです。そうしないと、やらなければならないことがどんどん増えてしまい、「教員の多忙化解消」など、とても無理な話で、結果的に子どもの教育に影響を及ぼしかねない状況になってしまうのではないかと危惧します。

○4月14日 印旛地区教育委員会連絡協議会平成29年度第1回定例常任委員会及び第1回教育長会議について

今年度最初の常任委員会でした。協議事項は、印教連の定期総会に関連した事柄が中心でしたが、その他にも、平成30年度以降の事務局の業務分担等についても、確認し合ったところです。また、今年度の教科書採択の事務局となる富里市から、今年度は、例年実施している附則9条本の他に、初めて、道徳の教科書を採択することとなること、また、専門調査員の推薦については、かつて問題となった教科書会社との関連のない者をお願いしたいという話がありました。また、印教連関係の事務局については、今年度から佐倉市が引き受け、研修視察は白井市が担当することになったため、それぞれの教育委員会事務局担当者が常任委員会に出席され、自己紹介をしていただきました。引き続き行われた教育長会議では、北総教育事務所管理課長から千葉県教育委員会の課題とその対応ということで、7点について、また、北総教育事務所管理課にかかわる課題として5点の説明がありました。およそ40分間、隙間なく話をされたのですが、質疑の時間がなく、一方的な話で終わってしまいました。その話の中で気になった点がいくつかありましたので、少し説明させていただきますと、人材の育成という項目の中で、学校に配置される教職員定数の問題で、昨年度末、学校1人配置の職、例えば、養護教諭とか事務職員の配置で、児童生徒数の変動によって配置数が異なることに気づかず人事配置をしてしまったことから、大きな失敗をしたことを例に挙げ、学校管理職は定数管理をしっかりとできるようならなければならないという話をしておられ、今後研修させるとの話をしておりましたが、私は、定数管理は、管轄の市町教育委員会が正確に転出入を管理できる立場にあるわけですから、まずは、市町教育委員会がしっかりと管理すべきであり、併せて県教委との連絡を密にすることが大切だと思っています。それを、学校に責任があるかのようにしてしまうのは、いかななものかと思ったところです。また、これは県の施策説明会の報告の中でもお話しさせていただきましたが、次々に課題が生まれ、新たな取り組みも増している学校の教育力を高めていくには、思い切って何かを削ることは必須であり、それには、おおもとの県教委がまず決断をしていただくことが必要だと感じた次第です。私が、今すぐ実践できるものとして考えるのは、教育事務所で実施している指導室訪問と所長訪問で、それぞれ目的が違うという訪問者側の言い分ではなく、受ける側、すなわち学校の立場に立って、どちらかをやめるか、あるいは、双方同時に実施するとか、学校の実情をしっかりと考えていただきたいと思っているところです。

○4月14日 国際こども絵画交流展2017実行委員会について

今年度第1回目の実行委員会が開かれ、委員長に小泉市長、副委員長に私が就任することが了承されました。毎年この第1回目の実行委員会で、子どもたちから募集する絵画のテーマが

決められますが、今年度は、食（Food）となりました。食育、食文化、あるいは、食物そのものか、解釈はいろいろ出てしまうと思いますが、子どもたちの豊かな創造力を引き出し、魅力的な絵画が多数出品されることを期待したいと思います。なお、この絵画交流展の表彰式は、11月19日（日）と決定しております。教育委員の皆様にも、是非ご参加くださいますようお願いいたします。

○4月15日 平成29年度成田市文化団体連絡協議会総会について

中央公民館にて文団連総会があり、出席しました。今年度から、文化振興はシティプロモーション部に移行したため、文団連の担当は教育委員会部局ではなくなったのですが、これまでの経緯もあり、総会には出席させていただきました。ただ、今後についてどうするかは、検討の余地はあるように思いますが、実際に活動する市民は、市長部局も教育委員会部局も関係なく、自分たちの活動が支障なく行えればいいわけで、どうするか迷った時には、市民目線で物事をとらえ、結論を出せばいいと思ったところです。

○4月19日 日本財団「家でも学校でもない第三の居場所」設置に関する事業説明会について

日本財団主催の事業説明会に参加してきました。これは、貧困家庭の子どもを支援する目的で実施する新しい取り組みですが、B&G財団が全面的に支援をしていただけるもので、当初の施設整備など、開設にかかる費用に4千万円、その他、運営費として年間2千万円を3年間継続して助成してくれるというもので、大変魅力的な内容と思い、説明を聞きに行ってきました。

本来的にはB&Gの施設を改造して使ってもらうのが一番いいのですが、そうでなくても良いということでしたので、成田市でどこか良い場所はないかと考えているところです。今年度は全国で10か所程度を見込んでいるとのことですから、成田市が手を挙げても補助を受けられるとは限りませんが、貧困家庭の子どもを支援することは市としても大変重要な施策であると考えていますので、良い方策はないか、検討していきたいと思えます。

○4月21日 千葉県都市教育長協議会平成29年度定期総会について

千葉県内の市教育長で構成する協議会の定期総会があり、今年度も引き続き、会長は船橋市の松本文化教育長、副会長に印西市の大木教育長と館山市の出山教育長が選任されました。都市教育長協議会では、役員の輪番制により、平成31年度には会長職が北総地区に回ってきて、ちょうどその年に、関東地区の都市教育長協議会の会長も引き受ける年回りになりますので、

その際は、どの市が会長職になっても、事務局は大変になるものと思います。

○4月22日 平成29年度一般社団法人成田市体育協会定時社員総会・平成28年度一般社団法人成田市体育協会表彰式について

一般社団法人となって第3回目となる体育協会の社員定時総会と表彰式に出席しました。市からは、市長と議長、そして私が顧問ということになっていますので、毎年、この会には参加しております。非常に多くの団体を抱える体育協会は、法人化され、事務局も独立しましたが、市の補助金が1千866万9千円もあり、自己資金等と合わせて年間予算が7千万円を超える大規模な団体です。それだけに、この会の運営はとても大変だと思います。総会への出席者数は33名、委任状を出された方も多くいて、会はもちろん成立していましたが、大きな組織の割には役員以外の出席者は少ないように見受けられました。また、これまで一般社団法人となるまで事務局長として頑張ってくられた藤田氏がここで退任し、新たに土屋義治氏が、また、新たな専務理事には野平浩明氏が、就任しました。

○4月25日 印旛地区教育委員会連絡協議会平成29年度定期総会について

全委員さん出席のもと、昨日開催いたしましたので、特段、報告の必要はないものと思いますが、印教連の新しい会長として、四街道市の教育長職務代理者、府川雅司委員が選出されました。これまで2年間にわたり、本会の会長としてリーダーシップを発揮していただきました小川委員、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。なお、その他の会の内容については、省略させていただきたいと思います。

《教育長報告に対する意見・質疑》

佐藤委員：入学式ですが、私は遠山中と中台中に行ってきました。遠山中は、生徒による進行でしたが、放送関係でいい賞をいただいていることもあり、指導が行き届いているのか、とても声が通り、話し方にも素晴らしいものがありました。校歌を斉唱する際のピアノ伴奏の生徒が、インフルエンザにより、急遽、欠席となるアクシデントがあり、当日になってブラスバンドによる演奏に変更したらしいのですが、とても素晴らしい演奏でした。来年からも、ブラスバンドによる演奏にしたらどうですかといった来賓からの意見もありました。中台中は、息子2人が大栄中でお世話になった谷先生が校長に着任されたこともあり、谷先生の門出をお祝いするという気持ちも含め、祝辞を

述べてきました。両校とも、地域の方々を大勢招いて、地域の方々と一緒にお祝いするという雰囲気がよく出ていました。

また、昨日の印教連の総会で、小川委員が会長をご勇退されましたが、小川委員のユーモアを交えたご挨拶、素晴らしいと思いました。2年間お疲れ様でした。

また、教育長報告の中でありました、学校現場における教員の事務負担を減らし、子どもたちとの関わりの方へもっとウエイトを置くようにすべきというお話については、私も全く同感で、今後そのようになってほしいと思います。

福田委員：私は、入学式で吾妻中学校に行きました際に、はなのき台の人口増加により生徒数も毎年増えてきていることから、部活動の数を増やしてほしいといった保護者からの要望がとても多く寄せられているというお話を校長先生から伺いました。入学式が行われた7日は、雨でしたので、雨ならではの学校施設の風合いといいますか、不便に感じられるところがあり、施設担当の方には直接お話しをしましたが、屋根のことや舗装について検討していただければと思います。また、10日には、八生小学校の入学式に行きました。新入生の1人が入場前に泣き止まず、入場時間が少し遅れていたので、保護者席にいたお母さんが、泣いていた新入生と一緒に入場することになったのですが、そのお母さんは、赤ちゃんを抱っこしていたので、赤ちゃんをお父さんに預けたところ、今度は、その赤ちゃんが泣き始めてしまったという微笑ましいハプニングがありました。会場にいた皆さんは、大らかな気持ちで、その様子を見守っていました。新入生12名に対して、来賓は30名程だったと思いますが、来賓の方々が校歌を歌っていらして、地域力が感じられる入学式でした。

豊住ふれあい健康館については、3月にあらかじめ視察をさせていただきましたが、とても充実した施設ですので、少しでも多くの市民が利用していただければいいなと思いました。また、テーブル等、元々学校にあった物を再利用していたのは、好感が持てましたが、いろいろな運動器具があり、使い方がわからない器具もあったので、指導する人が必要だと思いました。

高木委員：入学式ですが、神宮寺小と玉造中、それから自分の仕事の関係で、成田小にも出席しました。大変な雨の日の入学式でした。まず、神宮寺小の入学式は、対面式という形式をとられていて、演台が向こうとこちらにあるような感じで、29名の入学生に対し、在校生、保護者、そして来賓がぐるりと囲むような形でしたので、子どもたち

がちよっと緊張していたように感じました。その日の午後に行われた玉造中の入学式では、89名が入学しましたが、玉造中は子どもたちをよく見守っていますというメッセージが多くありましたことに加え、褒めていきますという校長先生のお話もあり、地域でよく見守られている学校だなと感じました。成田小の入学式は、自分の仕事の関係での立場で出席しました。教育委員会からの来賓として出席された教育長の祝辞を会場でお聞きした際、言葉を発するときの、言葉の浸透力というか、そういうものが大事なのだなと感じました。話し方とか、話の内容について、私ももう少し勉強しようと思った次第です。

次に、栄特別支援学校についてですが、これまで富里特別支援学校においては、更なる児童生徒の受け入れが困難な状況でしたが、閉校した栄東中を改造して特別支援学校ができたことにより、成田の子どもたちは、栄特別支援学校に行くことができるようになりました。成田の学校跡地についても、子どもたちのために役に立っていくというか、使命を持った施設になっていけばいいなと思います。

次に、日本財団の「家でも学校でもない第三の居場所」についてですが、貧困家庭の支援というのは、本当に大事だと思いますので、是非、成田市も手を挙げていただけたらと思います。子どもたちの学力も確かに向上していますし、学校支援地域本部事業とか、いろいろなことで子どもたちを地域で支援していくような流れができているのは確かなのですが、自分の仕事の方でも、そういう貧困家庭とか、子どもたちの家庭の部分に目をやると、いろいろ困っている家庭があるというのを、ひしひしと感じる部分があります。教育委員会では、垣根を越えて支援をさせていただいているのはわかっていますが、子どもたちの家庭を、何かあった後ではなく、何か起こりそうな家庭を掘り起こして、子どもに対しても、家庭に対しても、福祉部も、健康こども部も、教育委員会も、一緒に関わっていけるような体制を考えていただきたいと思います。今回、市の組織改編がありました。支援が必要な子どもたちを救い上げて、そういう子どもたちが希望を持てるような支援ができるよう、横につながった体制というのも作っていただければなと感じました。

小川委員：最初に、3月28日の成田市教職員の辞令伝達式ですが、たくさん新規採用され、見ていましたところ、男子の方は、返事が良く、声も大きくてよかったと思いました。女子の方は、もう少し元気があってもいいのかなという感じを受けました。これから、各学校で、是非、育ててほしいと思います。入学式は、西中学校と公津小学校へ行っ

てきました。西中学校の入学式は、新入生も在校生も落ち着いていて、素晴らしい入学式でした。祝辞については、若干変えさせていただきました。西中学校は、平成19年に4×100メートルリレーで全国1位になり、その次の年も優勝し、連覇していますので、自分たちの夢を実現した先輩の話をさせていただきました。10日の公津小学校では、校長の式辞が、私の式辞と全く同じような内容でしたので、これは困ったと思ひまして、少し話の内容を変えて、アドリブで話をしました。

次に、国際医療福祉大学医学部の入学式・開設記念式典ですが、これは、教育委員としてではなくて、区長として参加しました。会場の成田国際文化会館がいっぱいになるくらいの来賓が集まっていました。午前中、施設の見学会に行きましたところ、新入学生とその保護者がたくさん来ていました。午後からは入学式と開設記念式典があり、先程、教育長の方からお話がありましたように、素晴らしいコンサートが行われました。そして、来賓祝辞では、理事長の人脈の広さには本当にびっくりしました。最初に、安倍首相のビデオメッセージがあり、山本特命大臣、県議会議員、医学部のある大学の学長、医師会といった、そうそうたるメンバーが祝辞を述べられていました。式典につきましては非常に素晴らしかったのですが、一つだけ困ったことがありました。式典の後、会場から車を出るときですが、来場者の車がたくさん並んでしまい、なかなか会場から出ることができませんでした。成田国際文化会館の前の信号のところで渋滞し、車が全然動かない状況でした。成田高校の野球部のグラウンドの脇あたりを工夫して裏の出口を作れば、いろいろな大きい行事があったときに車を出しやすくなると思いますので、考えられた方がいいのではないかなと思います。

次に、4月22日、スカイタウンでジャズコンサートがあり、行ってきました。大変素晴らしいコンサートで、一流のミュージシャンの演奏を2千円で聴くことができるというのは、成田市民にとって本当に喜ばしいことではないでしょうか。ほとんど満席で、大変素晴らしいコンサートでした。これからも、たくさん、そういったコンサートが行われるようですので、是非、多くの市民の方々に生の演奏を楽しんでいただければと思ひました。

最後に、先程、教育長の方から、何かを新たに実施するなら何かをやめることも必要といったお話がありましたが、民間と同じようにもっと効率を考えて、新しいものを取り入れていく際には、何かをカットをしていくということに私も賛成します。特に、教育長も言われていますが、指導室訪問や所長訪問については、もっと減らしてもいいと思います。現場の先生方が、その分、子どもたちに手をかけられるような時

間を作っていただきたいと思います。

5. 議 事

(1) 議 案

議案第1号から議案第7号については、成田市教育委員会会議規則第20条第1項第1号の規定により非公開により審議する。

<これより非公開>

議案第1号 「成田市学校評議員の委嘱について」

高梨学務課長：

成田市学校評議員の委嘱についてですが、資料の1ページにありますとおり、成田市立小学校及び中学校管理規則第6条及び成田市学校評議員に関する規則第4条の規定により、学校評議員を委嘱するものです。続きまして、資料の2ページから5ページにかけて、市内の小中学校、義務教育学校の学校評議員の一覧を掲載しております。今年度も、全ての学校から5名ずつ、合計170名が推薦されております。複数の学校から推薦されている方はおりません。資料の7ページの委嘱年数のところをご覧いただきたいと思います。今年度、新たに委嘱されました学校評議員は52名となっております。1年目から4年目までの人数の内訳はご覧のとおりですが、以前問題となっておりました5年以上の長期にわたる評議員については、解消されております。推薦されている方の主な職種については、一覧のとおりです。

ご審議の程、よろしくお願いいたします。

《議案第1号に対する質疑》

佐藤委員：評議員の年数ですが、去年だいぶ刷新されまして、今年も全体的に委嘱年数が長い方が少なくていいバランスかなと思います。少し気になったのは、職種について、学校から見てどういう人なのかということが大事だと思うのですが、例えば、大学講師であったり、ライオンズクラブ会長であったり、それはその方の職種や肩書きであって、学校から見た場合、地域の有識者なのかなと思います。この資料のような細かい

分類だと、バランスがどのようになっているのかが逆にわからないですね。ですから、学校から見て、保護者であるとか、PTAの役員であるとか、地域の有識者であるとかというように、おおまかに分けた方が、どういう分布になっているのかというのがわかりやすいと思います。学校によっては、具体的な職種、職名だけ書いてあって、実際この方はどういう役割で評議員になっているのか読み取れないところもありました。その辺り、来年度から考えていただければと思います。

高梨学務課長：はい、検討したいと思います。

福田委員：今、お話のあった職種のところですが、民生委員をされている人は社会福祉協議会の欄にも入っているとか、あるいは、肩書きが2つある人は2つの欄で集計をしているのでしょうか。

高梨学務課長：延べ人数で書いてありますので、職を兼ねている方は、それぞれの欄に計上していると思います。

福田委員：では、スクールガードをされていて青少年相談員もされている方というのは、両方ともにカウントされているのですか。

高梨学務課長：両方にカウントされるということになります。

議長：他にございますか。それでは、評議員に推薦されている方の主な職種の一覧について、職種を細かく分け過ぎではないか、もっと大まかでも良いだろうということですので、来年度から検討してください。

小川委員：以前は、PTAの役員の方が非常に多かったということがあり、地域のいろいろな方のご意見を聞いた方がいいというようなことになりました。資料を見ますと、PTAの役員が1人、PTA関係が1人、保護者が5人などとなっていますが、地域の有識者として区分されている方の中には、PTA関係の方が多いのではないですか。

高梨学務課長：はい、PTA関係の方も含まれております。

小川委員：大変だとは思いますが、PTAばかりに頼るのではなく、地域の方々にできるだけ参加していただき、学校経営にいろいろな面からアドバイスをいただけるようにされた方がいいと思います。

高木委員：私も学校評議員を誰に頼もうか困っているという話をよく耳にしますが、4年間となると、誰にでも頼めるわけではないので、なかなか難しいと思います。PTAがいけないとなると、誰がいいとかということではありませんが、民生委員さんや児童委員さんがほとんどという学校もありますし、学校評議員の年代が60代、70代の方たちに偏ってしまうといったこともありますので、学校評議員を選ぶのは大変だと思います。

議長：学校評議員につきましては、校長が選ぶこととなりますので、校長が知っている人から選ぶとなると、どうしてもPTA関係等に範囲が狭まるわけですね。地域を詳しく知っているわけではありませんので、なかなか声をかけにくいただろうとは思いますが、地域の方々にできるだけ参加していただき、いろいろな面からアドバイスをいただけるようにといったご意見がありましたので、校長会議等で話をいただければと思います。

その他、何かございますか。

ないようですので、議案第1号「成田市学校評議員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第2号 「平成29年度教科用図書印旛採択地区協議会委員の選出について」

《審議結果》

承認

議案第3号 「平成29年度教科用図書印旛採択地区協議会専門調査員会調査員候補者の推薦について」

《審議結果》

承 認

議案第4号 「成田市学区審議会委員の委嘱について」

高梨学務課長：

平成28年度末の人事異動により、成田市学区審議会委員の10名のうち4名の欠員が生じたため、成田市学区審議会設置条例第2条第2項の規定により、次のとおり委嘱するものです。

なお、任期については、同条例第3条の規定により、前任者の残任期間である平成29年6月30日までとなります。

まず、第1号委員の公立学校長として、公津の杜小学校長の江邨一男氏です。平成26年度から平成28年度まで成田市教育委員会の学務課長を務められており、成田市の学区や指定学校、区域外就学に関する状況や要件等について熟知されています。

次に、同じく第1号委員として、下総みどり学園校長の藤崎修治氏です。平成18年度から5年間、学務課管理主事として、さらに平成25年度から4年間、北総教育事務所管理主事として勤務されました。学務課管理主事として勤務されていた時には、学区を担当されておりましたので、学区や学区再編等について非常に精通されている方であります。

次に、第4号委員の市長事務部局職員ですが、こちらは通例として、企画政策部長と市民生活部長を部局代表職員の委員としておりますことから、企画政策部長の宮田洋一氏と市民生活部長の秋山雅和氏に委嘱いたします。

ご審議の程、よろしく願いいたします。

《議案第4号に対する質疑》

佐藤委員：人選については特にありませんが、校長先生お二人についてはご自宅の住所で、市の職員については市役所の住所が記載されていますが、校長先生お二人についても学校の住所でいいのではないかと思います。あえてご自宅の住所としている理由はあるのでしょうか。

高梨学務課長：第1号委員の公立学校長の住所につきましては、例年、自宅の住所を記載して

いることから、このような形になったかと思います。

佐藤委員：自宅の住所とする必要はないと思います。校長先生は学校の住所でいいのではないのでしょうか。

議長：では、ご審議いただきましたとおり、修正していただきたいと思います。人選につきましては、異議がないということでした。他にございますか。

福田委員：人選についてですが、私も異議はないのですが、できれば、学区を調整する必要があるところ、大栄地区や加良部地区の学校の先生でもよかったのではないかと思います。今年の6月30日までの任期ですから、その後、委員さんが変わることでありますので、大栄地区や加良部地区のことをよく知る先生を多く委員さんに入れていただきたいなと思います。

議長：今回は6月30日までの任期となっておりますが、ご審議いただきましたとおり、その後の任期の方についても、よく考えて人選をしていただきたいと思います。

その他、何かございますか。

ないようですので、今回は、前任者の残任期間につきましての委員の委嘱となりますが、議案第4号「成田市学区審議会委員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第5号 「成田市心身障害児教育支援委員会委員の委嘱について」

高安教育指導課長：

平成28年度末の人事異動により、成田市心身障害児教育支援委員会委員の3名が退職、異動となりましたことから欠員が生じたため、成田市心身障害児教育支援委員会第4条の規定により委嘱を行うものです。

新任者につきましては、成田市立久住小学校の藤田総校長、この4月に開設されました千葉県立栄特別支援学校の吉田英男校長、千葉県立香取特別支援学校の岩瀬広幸校長の3名に委嘱するものでございます。

藤田校長につきましては、成田市教育委員会において教育指導課指導主事、その後、下総みどり学園の教頭として勤務されました。吉田校長につきましては、成田小学校教諭、三里塚小学校教諭として勤務され、三里塚小学校では特別支援学級担任の経験をお持ちです。岩瀬校長につきましては、香取特別支援学校の江川教頭が退任されたことから、同校の岩瀬校長に委嘱するものでございます。

ご審議の程、よろしくお願いいたします。

議長：ただ今の提案に対して、ご質問等はございますか。

特にないようですので、議案第5号「成田市心身障害児教育支援委員会委員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第6号 「学校体育施設管理指導員の委嘱について」

伊藤スポーツ振興課長：

本案は、学校体育施設管理指導員につきまして、平成28年4月1日から2年間の任期として、市内小中学校の教頭先生に委嘱しておりますが、平成29年度小中学校教職員の人事異動及び下総小・中学校が義務教育学校に移行したことに伴い、学校体育施設管理指導員を新たに委嘱するものでございます。

今回の委嘱期間は、学校施設の利用に関する規則第5条の3第3項の規定により、前任者の残任期間とすることから、平成29年4月1日から平成30年3月31日までとします。

なお、対象者につきましては、小学校10名、中学校5名及び義務教育学校1名の合計16名となっており、内訳としましては、新任12名、転任4名となります。

ご審議の程、よろしくお願いいたします。

《議案第6号に対する質疑》

高木委員：学校の施設については、学校に関することなので、教育委員会の管轄だと思いますが、シティプロモーション部に事務が移管されたのだけれども、教育委員会が委嘱するということなのでしょうか。複雑でよく分からないので説明していただけますか。

スポーツ振興課黄野係長：この事務につきましては、補助執行という形で、スポーツ振興課の方で担当させていただいております。今年度も、引き続きこちらで事務を行っております。

関川教育長：教育委員会が委嘱をしますが、事務については、教育委員会から市長部局のシティプロモーション部に移管されましたので、補助執行という形で、スポーツ振興課が引き続き事務を行うということです。あくまでも、委嘱するのは教育委員会ということです。ちょっと複雑でわかりづらいかも知れませんね。誰かわかりやすく説明していただけますか。

鬼澤教育総務課長：同じ言い方になると思います。総合教育会議も同様で、企画政策課の事務分掌となっておりますが、補助執行で教育総務課が事務局となり、会議を開催しています。市長部局から教育委員会への補助執行ということで、スポーツ振興課とは逆のパターンですね。

宮崎教育部長：大栄幼稚園の管理運営もそうですね。教育委員会の権限に属する事務について、保育課が補助執行しています。

議長：その他、何かございますか。

ないようですので、議案第6号「学校体育施設管理指導員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

議案第7号 「成田市視聴覚ライブラリー運営委員会委員の委嘱について」

池田図書館長：

本案は、成田市視聴覚ライブラリー運営委員の任期が平成29年3月31日で満了となったことから、成田市視聴覚ライブラリーの設置及び管理に関する条例第8条の規定により、委員を委嘱しようとするものです。

第1号委員につきましては、学校の代表者として校長会より推薦をいただきました、吾妻小学校の濱本校長先生並びに中台中学校の谷校長先生の2名です。なお、濱本委員は再任となります。

第2号委員につきましては、社会教育施設の代表者として、公民館の神崎館長です。再任となります。

第3号委員につきましては、視聴覚教育研究団体の代表者として、それぞれの団体から推薦をいただきました2名です。

映画サークルつばさの武石博實氏並びにくまちゃん親子サークルの松室容美氏です。両名とも再任となります。

第4号委員につきましては、学校教育及び社会教育行政の担当者として、高安教育指導課長並びに田中生涯学習課長です。田中委員は再任となります。

第5号委員につきましては、各協議会等から推薦をいただきました3名です。

成田市青少年相談員連絡協議会副会長の佐藤友紀委員並びに成田市PTA連絡協議会副会長の木幡潤委員は、新任となります。

成田市子ども会連絡会会長の軸屋美恵子委員は、再任となります。

なお、委員数は合計10名で、任期は本年4月から2年間です。

以上ご審議の程、よろしくお願ひ申し上げます。

《議案第7号に対する質疑》

小川委員：知識経験を有する者は、成田市青少年相談員連絡協議会、成田市PTA連絡協議会、成田市子ども会連絡会の方に委嘱をするというように、当て職として決まっているものですか。

池田図書館長：条例等に明記はされておりませんが、慣例により、毎回この3団体に委嘱をしている状況です。

小川委員：視聴覚教育研究団体についてですが、この2つの他にありますか。ないからこの2団体としているのですか。

池田図書館長：この関係を代表する団体につきましては、この2団体となりますことから、選ばせていただいております。

関川教育長：視聴覚機器を有効活用して活動に生かしている団体というところで、これらの団体が推薦されていると思われませんが、他にも視聴覚機器を活用している団体があるようなら、そこからも是非推薦していただきたいと思います。

池田図書館長：視聴覚機器の活用ということだと、成田市青少年相談員連絡協議会の方、それから映画サークルの方が主に利用されております。

小川委員：利用の多い団体から選んでいるということですね。

池田図書館長：はい、そうです。

議長：その他、何かございますか。

ないようですので、議案第7号「成田市視聴覚ライブラリー運営委員会委員の委嘱について」を採決いたします。本議案に賛成の委員は挙手を願います。

挙手全員であります。よって、本案は承認されました。

<非公開を解く>

6. その他

その他 「楽満寺のガラス絵馬・板絵馬類について」

田中生涯学習課長：

市指定文化財として指定しておりました「楽満寺のガラス絵馬・板絵馬類について」ご報告いたします。

3月7日付で「楽満寺の安産子育て祈願関係資料」として、千葉県指定有形民俗文化財に指定されたことにつきまして、3月の教育委員会会議でご報告させていただいたところですが、県指定から除外された「算額」の板絵馬1点の今後の取り扱いにつきまして、4月17日に文化財審議委員会を開催し、実際に絵馬を審議委員の皆様にご覧いただきながら協議しましたところ、「算額」の板絵馬1点につきましては、名称及び内容を変更し市の指定文化財として継続して指定するとの結論に至りました。今後、名称及び内容の変更手続きを進めてまいります。

なお、成田市内においては、楽満寺の他に、名古屋にあります須賀神社や高の月輪神社などにおいて、ガラス絵馬が確認されております。また、算額絵馬につきましては、名木の常福寺、それから成田山霊光館の方にもございますので、それらを含めまして、市内にある絵馬や算額についても確認してまいります。

楽満寺の絵馬につきましては、以上となります。

もう一点ですが、千葉県と4市で設立した活用協議会で作成しました「北総四都市江戸紀行」という日本遺産のパンフレットが出来上がりましたので、ご覧いただきたいと思っております。

《質疑》

福田委員：算額は、なぜ千葉県の文化財から外れたのですか。

田中生涯学習課長：今回の県の指定につきましては、「楽満寺の安産子育て祈願関係資料」というテーマを持ったコレクションになっておりまして、ガラス絵馬も板絵馬も、全部、安

産子育て祈願というテーマの作品になっております。算額だけが、このテーマから外れておりますので、県の指定にならなかったということです。

関川教育長：昔の人が考えた計算式が絵馬に書かれています。ほとんど消えてしまっていますが、実際によくご覧になると、このような昔から、今や数学でやっているようなことをやっていたのだなということがわかるものです。微分・積分の内容のようです。

田中生涯学習課長：消えてしまっているのですが、楽満寺に行かれますと、算額の下に、消えている部分について、紙に書いてあります。寸法が何寸であるとか書いてありまして、問題が出されております。

関川教育長：ガラス絵馬は、本当にガラスに着色してあり、色が取れてしまっている部分もありますが、貴重なものだと思います。

7. 教育長閉会宣言